

新毛原民話集

ヨモギに

助けられた剣豪

昔むかし、劍の達人として名高い岩見重太郎いわみじゅうたろうが、父の仇である広瀬軍蔵ひろせぐんぞうら三人を追うて、京の都から丹後の宮津に向かつておったそうな。

その道中、毛原の村にさしかかったところにある茶屋の前で、ふと重太郎の足が止まった。

「おいしそうな、いいにおいがするぞ。」

そして重太郎は思った。

「そうだ、腹が減っては戦はできぬ。いんげんここでひとつ、腹ごしらえをしておこう。」



茶屋のばあさんが、

「これはヨモギ餅といって、ヨモギはおいしいだけやのうて、血止め薬にもなるんやで。」
といった。

「それにしても、このヨモギ餅は実においしい！」
「毛原の棚田のもち米を使っているから、さらにおいしいんやで。」

重太郎は、あまりのおいしさに、餅を一気に三つ、ペロツとたいらげた。

お腹いっぱいになった重太郎は、また先を急いだ。

そしてついに、寛永九年九月二十日（1652年）、重太郎は天橋立で父の仇三人を見事に討ちはたした。

しかし、京への帰り道、重太郎の身にたいへんなことがおこった。



毛原峠の頂上にある地藏堂の大杉の下で休んでいるときだった。

先回りして待ち伏せていた軍蔵の子、ぐんざえもん軍左衛門ら三人に切りつけられたのだ。

いかに重太郎とはいえ、三人の敵に不意打ちをくらったものだから、無事にはすまず、敵の刀による深い傷を負ってしまった。

それでも、さすがは剣豪、三たび重太郎の刀が振りおろされると、三人の敵は次々たおれた。

が、最後に刀を振りおろしたとき、重太郎の体がグラツとよろけたはずみで、刀の切っ先が地藏さんに触れてしまった。

「あっ！」



地蔵さんはバラバラになり、頭が坂をゴロゴロところげていった。

重太郎はあわてて頭を追いかけた。

「バチが当たってはたいへんだ！ もとにもどさんと・・・」
「おーい、あたま！・・・ まっておくれ！」

ゴロゴロゴロゴロゴロ、ドン！



しばらくころがりつづけた頭だったが、大きな岩にぶつかってようやく止まった。

「ようやく止まってくれたか。次はこの傷口の血を止めなきゃ命があぶないな。」

「ん？ なんだか、いいにおいがするぞ。これはたしか…」
大きな岩のまわりには、やわらかな草が一面に生えておった。

「これはもしかすると、ヨモギではないのか？」



「ヨモギは血止め薬になるといったが、地蔵さんがここに連れてきてくれたのかもしれない。」

重太郎は迷わず、ヨモギを傷口に当ててみた。すると、不思議なことに、それまでドクドクと流れていた血が止まり、痛みもなくなった。

「ありがたや、ありがたや。」

重太郎は地蔵さんとヨモギに感謝しながら、地蔵さんの頭をかかえて坂を登っていった。

そして、三つに分かれてしまった地蔵さんをもとの姿に積み重ねると、重太郎の傷口もふさがった。



ふと、地藏さんの顔をみると、なんだか重太郎に微笑みかけているように見えるのだった。

それからというものは、頭と胴体と台座の三つに分かれているこの地藏を、みな「袈裟切り地藏けさきり」と呼ぶようになった。

また、地藏さんの頭を受け止めた大岩は、「岩神いわがみさん」と呼ばれ、いつしか祭られて、岩姫神社いわひめになった。

そして、毛原で命拾いをした重太郎は、その後、豊臣家に仕え、大出世を遂げることになったとき。

めでたし、めでたし。

(新解釈による補足説明)

これまでの言い伝えでは、毛原峠での一戦で重太郎は無傷だったとされていましたが、いくら剣豪とはいえ、複数の人間に不意打ちされ、無事で済むとは考えにくく、また、一太刀でも刀で切られたとしたら、毛原峠の頂上では手当てすることもできず失血死する可能性も高かったでしょう。

しかし、もし、ヨモギの効能を知っていれば、ヨモギは日本ではよく見られる植物で、京都では探すのに手間がなく、容易に止血できたかもしれません。

以上のことから、次のように考えることもできそうです。

重太郎は毛原峠の頂上で出血を伴う傷を負ったが、なんらかの方法でヨモギの知識を手に入れていたおかげで命が助かった。

発行日／平成 31 年 3 月 30 日

編集・制作／新毛原民話集製作委員会

毛原住民

水口卓男、水口紀久子、高橋泰雄、高橋すみ枝、水口清司、水口裕子、水口須磨男、
水口怜、櫻井一久、櫻井美佐枝、水口一也、水口みつ糸、水口剛、水口和江、
谷口宏幸、谷口真理子、櫻井貞之、櫻井マサ子、櫻井陽一、櫻井純子、川瀬保、
川瀬節子、櫻井一好、櫻井有佳子、居相大輝、居相愛、居相糸草、櫻井義数

ItalianRestaurant&WeddingOZ

中川善敬

大江地域里山研究会

赤松武司

観光協会大江支部

岡垣清己

毛原の柵田「体感」ツアー実行委員会

大槻博路、高橋正、岡野和樹、横田未来、松井美幸、椿玲子、山田静

福知山市地域おこし協力隊

濱口義典

NPO 法人いのちの里京都村

菱川貞義、林利栄子、黒嶋俊之、乃一井泉

ほか有志

イラスト／菱川貞義